

## コンセプト

知的障害を持つ子供は、親が高齢になり育てられなくなってから施設に入ることが多い。環境の変化に戸惑いやすい我が子が施設でしっかり生きていけるだろうかという不安の解消と、老後もばらばらにならず家族のつながりを感じながら生活できることを目的として新しい仕組みを提案する。

### プログラム

敷地は、福祉が充実した緑の多い住宅街、 杉並区高井戸。老朽化した杉並障害者福祉会 館の役割と共に、知的障害を持つ子供とその 家族がそこに住むことを楽しめる住宅棟と地 域に開いた公園を設計する。

また、敷地中央の道路を利用して週に1度 の移動式商店街を計画することで積極的に地 域との関わりを持つ。

# デザイン

住宅棟は3フロアにわけて設計した。子供が幼く親も若いうちはファミリーフロアで家族で暮らし、それぞれのタイミングで親はシニアフロア、子供はグループホームフロアにわかれる。半地下のグループホームを囲むように断面を配置し、共用部分は上に住む家族の居場所としても使われ、子供の存在をそれぞれの距離感で感じられるつくりとした。





父はサラリーマン、母は専業主婦 最近男の子が生まれたばかりで お姉ちゃんは重度の自閉症です ファミリーフロアに住み始めました

犬の散歩をしながら よく遊びに来ます

弟が一人暮らしを始めるタイミングで 姉はグループホームフロア、 両親はシニアフロアに移住します



買い物はスーパーが多かったけど 日曜日にたくさんお店がくるので 毎週楽しみにしています

デイサービスに通ってできた お友達と会うのが楽しみです

ファミリーフロアに住んでいます 放課後は共用リビングで世話人さんが 一緒に面倒を見てくれるので パートで働くことができます

父が亡くなり母は単身で住み慣れたシニアフロアで暮らし続けます グループホームフロアの姉の存在を感じながら、

結婚した弟も家族で遊びに来れる環境で老後を過ごすのです





#### シニアフロア

グループホームフロアに子供を入居させた 親を対象とした賃貸住宅。部屋によって単身 向け・夫婦向けがあり、高齢になり車いすを 利用するようになっても動きやすいよう回遊 する動線を採用する。

#### グループホームフロア

1つのユニットで知的障害者4~5人と通いの世話人がともに過ごす。キッチン・ダイニング・トイレ・風呂は共用で、各部屋は寝室になっている。

週に一度、シニアフロア・ファミリーフロア のみんなも集まって一緒にごはんを食べる。

## ファミリーフロア

若い世帯に向けたファミリー向け賃貸住 宅。子供が小さいうちからまわりの家族やま わりのフロアとの関係を築くことで親の老後 も安心の生活を実現する。











